

知っていますか？ 服と地球温暖化の関係

2025年の夏はとても暑く、日本の6月から8月の平均気温は、1898年の統計開始から最も高くなりました。世界でも気温上昇が続いており、猛暑 による熱中症、大規模な災害の発生や農作物の不作など、大きな影響が出ています。ところで、二酸化炭素をはじめとした温室効果ガスのうち、服に関するものが約1割を占めているということを知っていますか。ファッション産業は、近年、安い服が大量に作られ、売られ、短い期間で廃棄されるようになり、環境に与える影響が大きい産業であると指摘され、国際的な課題となっています。



大和市気候非常事態宣言
ロゴマーク

何が問題なの？ 服が環境に与える影響

一番の問題は、安い服が大量に作られ、売られ、捨てられていること！

日本では、1年間に1人あたり平均19着の服を買い、1年以内に平均11枚の服を手放しています。手放される服のうち、再利用される服はたった42%で、年々その割合は高まっていますが、残りの58%はゴミとして焼却・うめ立てられています。

服1着あたりの二酸化炭素排出量は約25.5kg、水消費量は約2,300ℓ！

服1着を作る製造過程（紡績、染色、裁断、縫製、輸送）で多くの資源を消費し、二酸化炭素を排出します。

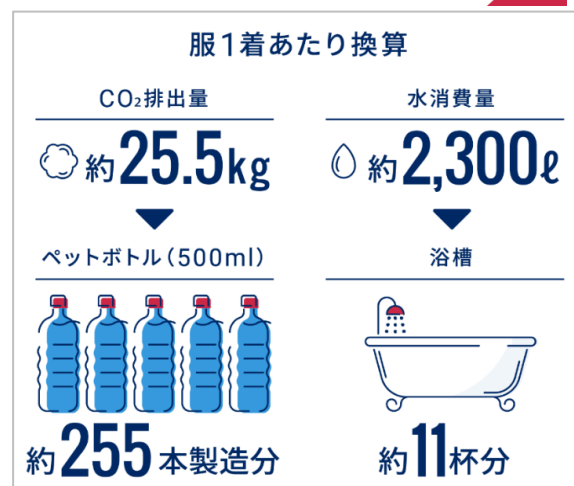
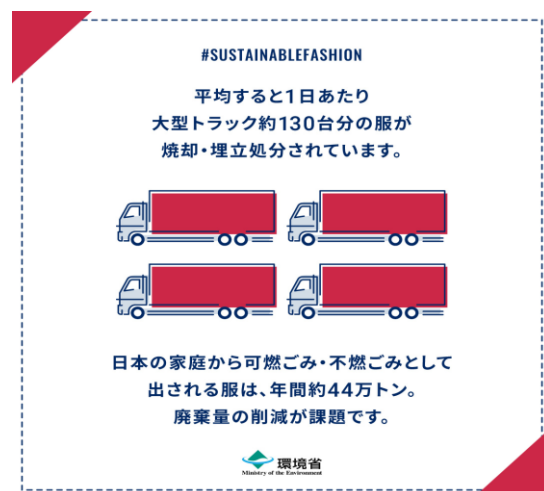
服を洗たくすると、マイクロプラスチックが海に流れていきます。

化学繊維（ポリエステル、ナイロンなど）の服はペットボトルと同じ、石油から合成された原料で作られています。洗たくする時に出るくず（マイクロプラスチック）は環境を汚染します。

あなたにできることを考えてみよう！

- ✓服を買うときは、長く使えるか考える。
- ✓リサイクルショップで服を買う、売る。
- ✓化学繊維の服は洗たくする数を減らす。

ほかにもあるかな？ 考えてみよう！



もっと詳しく知りたい人は、
「環境省 サステナブルファッション」で検索

裏面を見て、1週間、環境にやさしい行動にチャレンジしよう。

①今までのチェック	今までの1週間をふりかえり、それぞれの項目について、できていた日の数を記入してください。
②取り組んでみよう	項目を意識して、1週間チャレンジしましょう。 できた日に○をして、最後に達成できた日数を記入します。
③どれだけCO2排出量を減らせるか計算しよう	表に書いてある数字と一週間に達成できた日数をかけて、1年間取り組んだ場合にどれだけ二酸化炭素排出量を減らせるか計算してみましょう。